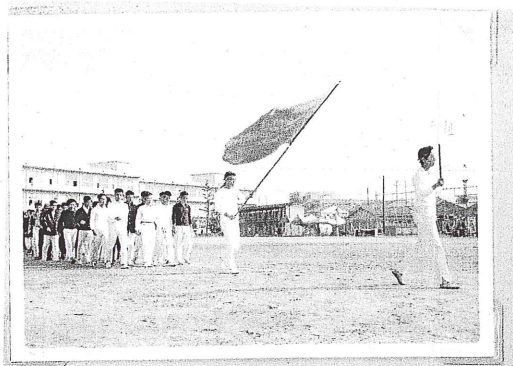
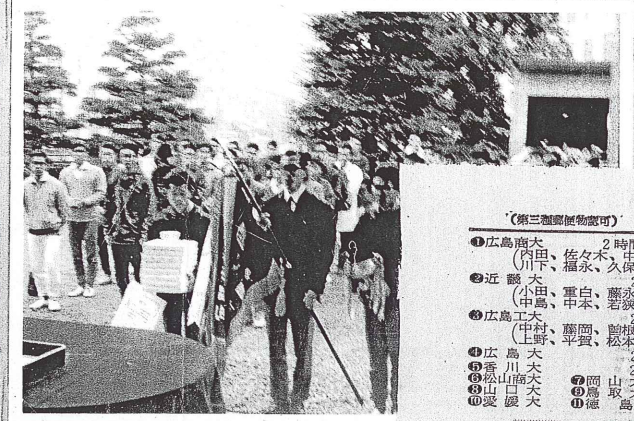




（第三種郵便物認可）　昭和39年12月7日　（月曜日）

広商大が初優勝

広大の6連勝はばむ

── 中四国学生駅伝 ──

❶広島商大　2時間43分5秒
（内田、佐々木、中野、川下、福永、久保田）
❷近畿大　2・47・12
（小田、重白、藤永、中島、中本、若狭）
❸広島工大　2・48・5
（中村、藤岡、曽根、上野、平賀、松本）
❹広島大　2・48・6
❺香川大　2・48・9
❻松山商大　❼岡山大
❽山口大　❾鳥取大
❿愛媛大　⓫徳島大

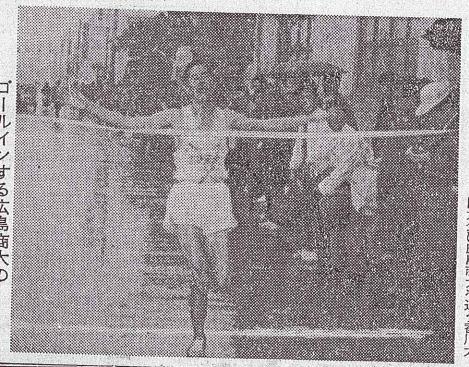
中四国学生陸上競技連盟、中国新聞社共催、山口県教委、山口市教委後援、山口大学主管の第八回中四国学生駅伝は六日午前十時から山口市の市役所前―宮野―佐山小折り返し六区間、四七・三㌔のコースに十一チームが参加して行なわれた。

朝から小雨が降り続くという悪コンディションながら最初からとび出した広島商大がそのまま逃げきり、二位近畿大に四分という大差をつけてゴールイン、広島大の六連勝をはばみ初優勝した。

三つの区間で新記録が生まれた同大会は広島商大を追う香川大、松山商大、広島大、広島工大の激しい二位争いがレースの焦点となった。第一区で最下位だった広島工大が二区藤岡、四区上野、五区平賀の力走で三位におどり出たのをはじめ、各所で抜きつ抜かれつの熱戦が展開された。

六連勝をめざす広島大は二区角原のブレーキが大きな敗因となった。三区岡崎、四区児玉の力走で追いあげたが四位にとどまった。

【区間最高記録】
一区＝内田（広島商大）27分25秒
＝区間新▽二区＝片岡（松山商大）27分39秒▽三
11分24秒＝区
（広島商大）39
（広島工大）
六区＝若狭（



ゴールインする広島商大のアンカー久保田選手